

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつぶっぽいと思った理由 |
|---------------------|----------------------|--|
| 星の消えた夜に -rit. ver.- | Aimer | 曲調がきみつぶっぽい 歌詞も雫と夏織っぽい |
| Till the End | ReoNa | 歌詞の一部が雫の思っっぽい |
| 夏影テールライト | Unison Square Garden | 雫の視点と夏織の視点が入り混じるような歌詞が夏に溶けていきそうなサウンドに乗っていてとても合うと思います。 |
| 私の最後の日 | ユアネス | 歌詞がきみつぶっぽい 夏織視点と思う |
| IN MY LIFE | SALU | Beatがまんまきみつぶの世界観。 |
| あの夏に咲け | ヨルシカ | |
| I.P. | Aya Sueki (アヤスエキ) | 音楽全体が夏をイメージして作られていて、暑い夏なのに疾走感を感じられたり、Orangestarさんの音楽のように、夏の儚さを感じます。音楽のテーマは自己解釈なのですが、「どこか遠くへ行ってしまいそうな夏織ちゃん(意味深)」を雫が一生懸命探している、繋ぎ止めようとしている。という情景が脳内で描かれます。有線イヤホンで聴くとエモエモです♡ |
| Everlasting | B'z | 私がB'zのファンだからってのもあるんですが、「きみつぶっぽい曲」と言われて真っ先に思いました！ 全体を通して歌詞がピッタリだと思うので、もしご存知なければぜひ聴いてみてくださいませ～ |
| アサガオの散る頃に | ツユ | 初めに曲名の「アサガオが散る頃に」というのが夏織と雫の2人の夏の出来事を表したように感じました。 また、歌詞の「この手じゃ君を繋ぎ止めておけない」は1巻の夏織に振り回される時の雫 「胸の奥が痛い痛いよ」は夏織の病気や好きな気持ちに気づいてそれをどう小説に表現しようか苦しんでる時の雫 「飛び去るのを見てることしかできない」は小説をどう書けばわからなくなって夏織の病室へ足を踏み出せなくなった時の雫 そして最後の「夏が終わる前にきれいな空へと暮れた哀しみを投げ捨ててしまおう」は投げ捨ててはいないと思います 雫が夏織がいなくなったことを受け止めて勇気を振り絞ってクラスメイトに挨拶をする時の雫 長くなってしまったのですが、自分は雫の思いを綴ったようなこの曲がきみつぶっぽいと思いました。 |
| 覚えてていいよ | KOTOKO | 覚えてていいよというフレーズが、夏織を思い続ける雫を思い起こさせたため |
| HANABI | Mr.Children | 冒頭部分の内省的っぽいところは初期の雫っぽい感じがします。2番のサビとか夏織が倒れた後の雫にピッタリだと思います。大サビ部分の「逢いたくなった時の分まで 寂しくなった時の分まで もう一回もう一回 もう一回もう一回 君を強く焼き付けたい」は6巻読みながら聞いて号泣してました…！ |
| 夢みたあとで | GARNET CROW | 「望まなければ失わないのに 求めずにはいられないよ どんな未来がこの先にあっても」などの歌詞が、終わりを感じながらも意気合わずにはいられない二人を歌っていると思えて、切なくて泣けてきます。[1] |
| intro situation | ゆいかおり | 爽やかな夏の恋の歌で、きみつぶにピッタリ。歌ってるのが石原夏織さんという同じ名前、同じ漢字なのもポイント高いです。 |
| 眩耀夜行 | スリープブーケ | 2番以降の歌詞があまりにもきみつぶです。聞いてもらったら多分納得してもらえます。 |
| 楓 | スピッツ | 夏織がいなくなって2、3年後くらいの雫の気持ちはこんな感じかな、と思いました |
| himawari | Mr.Children | きみつぶと同じく悲恋ものの「君の臍臓をたべたい」の映画主題歌です。Aメロ、Cメロあたりが夏織を失う直前、直後の雫に刺さると思うので、ぜひ聞いてみてください！ |
| チェリー | スピッツ | 楓がノスタルジックな心情なら、チェリーは夏織に貰ったものを胸に抱いて生きていく、という前向きな心を感じられると思いました |
| 始発とカフカ | n-bunaさん | まず、曲のコンセプトが大切な貴方へ手紙をしたためようという内容できみつぶにピッタリだと思いました！ また、歌詞の中で『毒虫になっていた そんなに興味もないと思えていた』と己に降りかかった災難にも興味を示さない諦めや無関心さ、なのにラスサビ前で『今更 はらはら はらはら 心を知っていく 震えた言葉で書くま』と心を知り何とかして貴方に想いを伝えたいと手紙をしたためる様がとても雫ちゃんを彷彿とさせました。 他にも、最初の『伝えたい事しかないのに何も声が出なくてごめんね』や『時間が惜しいので今度は手紙をしたためるとしようか』という歌詞の部分を知っていると、思わず病室のベッドの上の夏織ちゃんを思い出してしまうほど歌詞ときみつぶの内容がピッタリだと思いました。 この曲は元々想いを伝えたい一人の少女を描いた曲ですが、皆さんの捉え方次第では雫ちゃんと夏織ちゃん両方の存在を感じられる素敵な曲なので是非聴いてみてください！ |
| もうじき夏が終わるから | n-buna | 1番と2番の歌詞が、雫に自分の秘密を隠してた時の夏織っぽい、と思いました |
| Overture | Arm's Length | It's a song about love, guilt, death, memories and trust. It reminds me of Shizuku. It's in English. // 愛、罪悪感、死、思い出、信頼についての歌です。雫を思い出させます。英語です。 |
| クローバー | cune | 歌詞がそれっぽい感じですよ。 |
| こんな命がなければ | 月詠み(ユリイ・カノン) | |
| ハッピーエンド | backnumber | 6巻の内容と歌詞の内容が噛み合ってると思いました。 |
| 楓 | スピッツ | 秋の歌ですが、最終回の雫にかなり合いそうな気がします。 |
| あの夏が飽和する。 | カンザキオドリ | ラスサビ入る時？の、「君がどこにも見つからなくて。」から、ラスサビの「君に言いたい事があるんだ」までが、すごいきみつぶ感があります… 家族やクラスメイトの友達がいるのにやっぱり夏織が居ない雫の悲しい思っだと自分で認識しています(?) |
| 君が思い出になる前に | スピッツ | タイトルと重ね合わせるだけで泣けるスピッツの名曲です。全体的に雫→夏織っぽい曲ですが2番Bメロの「忘れないうで 2人重ねた日々は この世に生きた意味を 超えていたことを」は夏織→雫のように聞こえてグッと来ます。 |
| 雪解け | tayori | 歌詞が夏織への雫の思っみたいだから。 |
| はぐ | MIMI | 少し物悲しくも今を生きている歌詞と、寄り添い方が2人っぽいので……曲調にもきみつぶっぽさを感じています |
| クラルライト | 七海うらら | 一夏の切ない曲になっているのがきみつぶと似てるかなって思ってます |
| The end of summer | fripSide | 曲自体は別の作品の主題歌のカップリング曲の為、全く関係がないはずなのに、歌詞を聴けば聴くほど2人の思い出が蘇ってくるようでした。 |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつつぽいと思った理由 |
|--------------------------------|---------------------------|---|
| 猫 | DISH// | 最終巻、死別後の雫だなあと…… |
| 君という神話 | やなぎなぎ×麻枝准 | 元のアニメがひと夏の物語なのもあり曲調が夏っぽい、切なさを感じる |
| あなたがいることで | uru | <p>曲の始まりの 「どんな言葉で今あなたに伝えられるだろう 不器用な僕だけどちゃんと届くように」</p> <p>この歌詞が雫ちゃんにリンクしてると感じました。第30節、楽しみな明日の 【これは私が夏織に送るラブレターだ。 夏織にちゃんと伝わるように、届くように】 を見て、この曲が思い浮かびました。</p> <p>「明日が見えなくなって、信じるのが怖くなって 過去を悔やんでは責めたりもしたけど」</p> <p>るりちゃんを虐めてしまった過去を悔やんで、ずっと自分を責め続けていた雫ちゃんを感じました。</p> <p>「会えない日々が続いたとしても 僕はずっとあなたを想うよ」</p> <p>君に贈る永遠を感じます(血涙)</p> <p>「傷つくことから逃げていた この心を動かすのは 弱さを見せないあなたが初めて見せた涙」</p> <p>第16節、消えかけの君での 夏織ちゃんの涙 【私から君に与えられるものがもうないんだよ……！】 25節、弱音での 【雫と会えないまま死にたくない】 【ひとりししないで】</p> <p>ここの歌詞を聞くとこの場面が思い浮かびます……</p> <p>全ての歌詞に雫ちゃんと夏織ちゃんを感じていたのですが長くなってしまうのでこのぐらいで……！</p> |
| 少女レイ | みきとP | 夏！！でとても悲しい気持ちになったからかなと思いました！（語彙力皆無） |
| 楓 | Eve | 歌詞と優しい曲調 誰かを静かに、力強く応援してる感じが二人っぽいと思ったから 特に「君と約束したあの日から 時が流れても忘れないわ」という歌詞が君に贈る永遠っぽいな、と思いました |
| 抱きしめる花びら | 蓮ノ空女学院ス クールアイドルクラ ブ | 雫が人と関わることへの怖さを克服してほしいと夏織の想いや、夏織が死んでも2人の繋がりには消えることはないと思える歌詞だと思いました。 |
| NATSUKAGE -夏 陰- | 777☆SISTERS | 夏がテーマになっているのと切ない歌詞できみつつぽいを思い出します |
| 夢みたあとで | GARNET CROW | 歌詞が全体的に合ってると感じました。 |
| 雪解け | Islet | YouTubeできみつつの静止画MADを見て曲とマッチし過ぎて泣けます |
| 春を待つ | Tayori | 季節は違うけど、内容がめっちゃきみつつぽい！ |
| 回層浮 | MyGO!!!! | <ul style="list-style-type: none"> ・1番の孤独を歌う歌詞が雫と夏織どちらにも当てはまるなと感じる ・言葉を紡ぐ事を書いた歌詞が、雫が夏織のために2人の恋愛小説を描くという作品の大前提に通じている ・1番サビが完全に雫→夏織の想いそのもの ・「まるで一生のような一日」「一緒にいたいと思った」「心臓の音だけが僕へと確かに響く」etc...と、夏織を通して雫が感じたであろう描写のような歌詞が多数書かれている ・ラスサビの歌詞が、夏織の温もりと心臓の音をはっきりと感じ取る雫そのもの ・最後の歌詞の「今日生まれた言葉 届けに行かなきゃ 明日を願った」が、書いた小説を夏織に届けたい雫の想いと完全にマッチしている |
| あなたに出会わなければ | Aimer | サビが、雫と夏織が運命的に巡り会ったことを歌っているように聴こえるから |
| 贅沢な感情 | XAI(サイ) | 6巻の後の雫の心情を表している気がしたからです |
| 君は夏風 | Bocchi | The lyrics are just perfectly suitable to Shizuku's and Kaori's story. |
| グレイ | sajou no hana | 歌詞が全体的に1〜3巻の雫目線みたいだなって思います。 |
| 向日葵 | Ado | 歌詞に登場する2人の人物が夏織と雫と被るところ多いし、何より夏の歌！ そして極めつけは百合ソングであることです！！ |
| TO BE ALIVE | 小倉唯 | この曲はなにも変わらないと思っていた人生と世界がある日「君」と出会ってそうではないことに気付き、自分も世界も変わっていく。 ざっくり言うとそんな曲なのですが、夏織を知っていくたびに自分を知る雫と、夏織のおかげで広がった仲間の輪を見ているとすごいきみつつぽいと思いました。 歌詞の後半も夏織の没後に生きて進んでいく雫達の意志が乗っているように感じます。 |
| 青のすみか - From THE FIRST TAKE | キタニタツヤ | この曲自体青春時代を過ごした唯一の親友と呼べる人物が居なくなって、青春時代の楽しかった時の記憶を振り返って時間がたった今でもあの頃の青に囚われている、または『呪われている』とも言える曲だと思ってるので、特装版冊子の雫の心情に合ってるきみつつのイメソンとしてびったりの歌詞だなと思いました。 また、曲調も疾走感のある原曲verと違ってゆったりとした曲調なので、夏織と過ごしたあの日々の記憶を振り返って懐かしんで、時間が経ってもまだ褪せることのないあの頃の想い、だけど後ろ向きな感情ではなくて、どっちかというのに向いて今の人生を歩んでいる。そういった雫の感情のようなものが感じられる曲調なので、この曲をきみつつのイメソンとして選ばせて頂きました。 |
| キミボシ | 40mP | 最初のブロックに春と冬の歌詞がありますが、それ以降は病気をカミングアウトした後の二人に重なるように感じます。 |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつぶぽいと思った理由 |
|-----------------------------|-------------------|--|
| ガジュマル ～ Heaven in the Rain～ | ReoNa | 歌詞が全体的に夏織を亡くした雫にぴったりだと感じました。タイトルや歌詞に出てくる『ガジュマル』はきみつぶで言うところの『あさがお』と考えるととてもしっくりきます。「愛してる」を直接言えずに永遠の別れをしてしまった二人。ただひたすらに会いたいと思う気持ちや、ずっと忘れられない、忘れたくない、どんな時でも夏織を探して思い出す雫の心情と歌詞が絶妙に合っていると思いました。 |
| 花に亡霊 | ヨルシカ | 君はもう居ないけど君と過した夏、もう一度あの夏を覚えて欲しいという歌詞が、きみつぶぽいと思いました！！ |
| Quit. | ヒトリエ | ヒトリエというバンドの夏の曲。 6巻で完結した後に雫たちが迎える夏織の居ない夏...のような歌詞に思えて仕方がないのでここで送らせていただきます。小冊子の君に贈る永遠の内容を含めたイメージです。 「何もかもが過ぎ去ってゆくそれでも君の夏が来る」などそれっぽい歌詞がそこかしこにあります。 特にラスサビの 「眩しかったね」となびく髪、揺れる波。 そこに僕が——居なくとも。 という歌詞は自分がイメソンだと勝手に思っていることもあり、想像しながら聴くと鳥肌ものです(ヒトリエのファン補正もあります) 是非配信でご紹介いただけたら嬉しいです...！ |
| 明日の空へ | saji | 6巻の雫が夏織の日記を読み終わった時に自然とこの歌が流れてきました... |
| glow | keeno | 「私の身体中君の傷跡が溢れているからもう進めないよ」ってフレーズが夏織が亡くなってから引きこもってしまう雫らしさを感じました。 |
| 君の知らない物語 | Supercell | 2番のサビがそれっぽい |
| 私が明日死ぬなら | キタニタツヤ | 全体的に夏織目線っぽい歌詞だな〜って思ってこの曲を選びました。 最初に、『私が明日死ぬなら、いくつか悔やむことがあるでしょう』という間奏までの歌詞があるのですが、この部分はもう先が長くないことを知ってしまって自暴自棄になり父親や葉に迷惑をかけてしまった時の夏織の心情みたいだなと思いました。 また、Bメロ(?)からの歌詞は夏織の自身への感情。 サビからは雫への想い、また、最終話の日記に書いていた『おばあちゃんになるまで生きていて欲しい』と綴っていたことを連想させる様な歌詞で夏織目線のイメソンとしてとても合ってるなと思い選ばせて頂きました。 |
| 記憶に恋をした | 和氣あず未 | もう逢えない好きな人と過ごした夏の日を、ふとした情景から切なく思い出す歌詞が非常に『きみつぶ』を感じさせます。歌っているのは2022年に公開された作品PVで夏織の声を担当された和氣あず未さんですが、歌詞は雫の心情に近いかもしれません。 |
| Campanula | 上田麗奈 | 歌っているのは作品PVで雫の声を担当された上田麗奈さんです。曲名と同じ名前の花、カンパニュラの花言葉は「感謝」「誠実」「想いを告げる」などあります。歌詞にもそういった感情がこもっている気がします。それだけでなく、どこか永遠の別れを告げる相手への想いも感じられて、まるで夏織の気持ちに寄り添っているように感じられました。歌詞に「かおり」が入っているのも好きなポイントです。 |
| ばかじゃないのに | ずっと真夜中でいいのに。 | サビの歌詞が最終話らへんのきみつぶだと感じました |
| 英雄の生涯 | リヒャルト・シュトラウス | 曲の構成が雫から見たきみつぶの物語に少し似ているから 夏織との出会い、目的が分からず疑いの目を向ける雫、少しずつ打ち解けて行く2人、るり芹との再会、夏織のことを知り支えようとする雫、そして夏織との死別 特に最後の2話は、最終章を聴きながら読むと涙腺崩壊します... |
| 少女レイ | みきとP | サビの「繰り返す フラッシュバック・蟬の声・二度とは帰らぬ君」がきみつぶぽいと感じました！ |
| Viva La Vida | Coldplay | 美しき人生というタイトルと反対に滅んでいく内容の歌詞がきみつぶのそして雫と夏織の関係にぴったりだと思いました。 |
| 優しさの記憶 | 鹿乃 | 全てを終えて、思い出として抱えていくような感じが「君に贈る永遠」あたりの雫っぽいと思いました！ |
| 恋と微炭酸ソーダ | まふまふ | 一度振って泡が立ってしまったソーダは、もう元には、炭酸の効いたあのソーダには戻れない。 そんな炭酸の抜けたソーダの味を忘れられず、捨てようにも捨てられない。 そんな歌詞です。 雫の犯した過ちや、夏織への愛情・未練など、歌詞と重なる部分が多い印象を受けました。 曲調は明るく、どこか涼しさを感じます。 ハッピーでなくとも決してバッドエンドではないきみつぶに、よく合うと思います。 |
| Tonight | KREVA | この曲は「いつ君と離れ離れになるかわからないからこそ、この一瞬一瞬を忘れられないくらい大切なものにしよう」という内容のラブソングなのですが、25節で夏織が弱さを見せたことで、夏織の死をより強く実感した雫にすぐ当てはまってると思ったからです。さらに、「今この瞬間ごと思い出になる曲をあげるよ」とう歌詞が、夏織のために小説を書き上げている30,31節の雫とも重なってると思いました。 |
| きみのとなりで | にじさんじ Endou Reimu | 歌詞全部が当てはまりすぎて泣いてしまうくらいには当てはまっています |
| 花の名 | BUMP OF CHICKEN | 歌詞の世界観がきみつぶの世界観とマッチしていると感じました。 特に『僕がここに在る事はあなたの在った証拠で僕がここに置く唄は あなたと置いた証拠で』と『生きる力を借りたから 生きていく内に返さなきゃ』は雫と夏織を思い出してジーンと来てしまいます。 ゆっくりとしたメロディで静かに歌い上げるところもきみつぶの作品に流れる空気感と合っていると思いました。 |
| アイネクライネ | 米津玄師 | 歌詞に雫と夏織らしさを感じるから |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつつぽいと思った理由 |
|---|------------------------------|--|
| 「Yesterday & Today (Strings Orchestra Mix)」 | Do As Infinity | <p>歌詞の内容は別れと旅立ち、どことなく死別の雰囲気を感じる曲です。きみつつ最終回が近づくにつれこの曲を思い起こすようになりました。最終回の読後この曲を聴きながら雫や夏織の足跡を辿る様に江の島を巡りました。</p> <p>今回ご紹介するのはDo As Infinityの2ndアルバム「NEW WORLD」の初回限定版のボーナストラックで、様々な媒体を探したのですが現在は聞くことが困難な曲です。</p> <p>間奏でオーケストラが流れるのですが、夏織の旅立ちと、残された雫の切なさを同時に感じる様な旋律で胸が締め付けられます。</p> <p>ラストの歌詞は、これから生きていく雫を歌っている様で個人的にこの曲はきみつつのイメソングにピッタリ過ぎるくらいピッタリだと思っています。</p> <p>可能であればゆあま先生にも是非聞いていただきたいです。方法としてはCDを中古で手に入れるくらいかと思いますが、お時間など余裕がありましたら是非。</p> <p>長くなってしまい申し訳ありません。</p> <p>きみつつは本当に大好きな作品です。これからもずっと読み続けます。改めまして、素晴らしい作品を本当にありがとうございます。</p> <p>wkt(wakotsu)</p> |
| 花火の魔法 | 杏沙子 | 花火を見て 花火の魔法にかかって そして花火のように消えていく 君つづだと思えます！ |
| イッサイガッサイ | KREVA | ラスサビの歌詞が、32節の「忘れない 絶対に忘れるわけがない...(中略)...夏織がいてくれたから私がここにいることを」の部分と一致していると思ったからです。そして「イッサイガッサイのみこんで」という歌詞が、君に贈る永遠での、自分なりにあの夏のことを受け止めて前に進んでいる雫を表しているように感じたからです。 |
| 夏の幻 | GARNET CROW | 歌詞の全てがきみつつだと(個人的に)思っているので...ガネクロ強すぎです |
| 群青セツナ | 岬なこ | 雫視点の歌詞だなあと聴いていて思いましたので |
| You Were There | エリック・クラプトン | 曲名がまんまです。曲の雰囲気が「君に贈る永遠」のストーリーに合うかな、と思っています。https://www.youtube.com/watch?v=2g_uTr4C2CQ |
| 線香花火 | 藤田麻衣子 | 『いつのまにかこんなに心に居たの 気がついたらもう引き返せない程』 ひと夏の恋人ごっこのはずが、深く関わっていく雫と夏織。重たく苦しい曲調もきみつつらしくて好きな曲です。 |
| 陽傘 | ナナヲアカリ | 夏の終わり際の歌。 歌詞ははじめのフレーズ「夢を見ていた」「懐かしい」「今更笑って会えるような気がしたんだ」 終わりの「忘れたくないのは君のこと」「思い出すのは 君のこと」 数年後の夏の終わり、夏織との日々を思い出した雫の歌にピッタリと感じました。 「君に贈る永遠」付近の時系列の歌。 |
| いつの日も | 阿部真央 | 私が死んでもいつでも思い出してほしい存在するという強火の曲なのでほぼ夏織の曲だと思いました。 |
| LOST PARADE | Aqua Timez | 歌詞が特に『君に贈る永遠』の雫っぽいなと思ってます。「君」と死別してしまった「僕」がそれでも前を向いて生きていくように感じられます。(原曲の二人は友情ではあるのですが、.....) |
| Ref:rain | Aimer | 歌詞も合ってると思うし、MVも女の子同士のMVで切ないところが合ってるなと思いました！ |
| 僕らの合言葉 | 清浦夏実 | 歌詞が雫と夏織の関係に合っているなと思ったから |
| Snow halation | μ's | 夏織視点での雫との出会いや訪れなかった2人での冬を思い浮かべるととてもイメージに当てはまると思いました！ |
| https://youtu.be/FVZJJ2v1Zys?si=XgEi8DzjF4qYFw6- | Islet | 全体的に歌詞がきみつつぽいけど特に「僕が照らすからまだ消えないでよ」が香織ちゃんと雫ちゃんが別れてしまいそうな時に雫ちゃんが「香織からの感想が欲しい」と繋ぎ止めるような歌詞に感じたから |
| 君がくれた夏 | 家入レオ | タイトル、歌詞、やるせなさ(?)とかがめっちゃ重なる部分がある(と思う)から！ |
| 向日葵 | Ado | 夏の曲だから、歌詞が雫→夏織っぽい感じがしたから |
| 最愛 | 柴咲コウ | 最終話あたりの雫はこの曲の歌詞のようなことを思ってるんじゃないかとおもった！ |
| A Moment of Eternity | 光田康典 | 夏織は「君に贈る永遠」時の雫を見たとき、この曲の歌詞のようなことを思うんじゃないかと思ったから |
| Subtitle | Official髭男dism | 雫を救いたい夏織の心情を綴った歌詞っぽかったから |
| Anytime Anywhere | Milet | 雫と夏織のふたりはもう一度生まれ変わろうともまた巡り逢うんだらうなアと思ったから どうかもう一度巡り逢ってほしい.....(悲哀) |
| 夏端月の青さだけ | 青い子 | |
| Tears I Cried | SIAM SHADE | 夏織が入院してから死後に彼女の手紙を読むまでの間の雫の心境がこの曲のメロディと歌詞とが見事にシンクロしたなあと聴いてて思ったので、選びました。 |
| 爆弾 | カンザキオドリ | 夏の曲だし、歌詞の自分が嫌い、相手を変えたくて、相手にも変えられて... という内容が夏織っぽい。病室から遠い花火を見る雫が歌ってたらって思うと泣ける。 |
| 夏音 | GLAY | 学生の頃から気に入ってる曲でもあり、これしかないと思いました。 |
| 少女レイ | I prefer the Covered by YuNi | これらの歌詞は「君と綴るうたかた」のマンガのエンディングにとっても合っていると思います。メロディーも同様です。 (繰り返す フラッシュバック・蝉の声・ 二度とは帰らぬ君 永遠に千切れてくお揃いのキーホルダー 夏が消し去った 白い肌の少女に 哀しい程 とり憑かれて仕舞いたい) |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつぶっぽいと思った理由 |
|--|--------------------|--|
| フユノ | ヒトリエ | |
| あなたの夜が明けるまで | 傘村トータ | 4～6巻あたりの夏織と雫っぽい感じがするから。 |
| 春を待つ | Islet | 曲調や繊細な歌詞がまさに雫と夏織を表しており、この二人のために作られたのではないと思うくらいマッチしている。 |
| 世界 feat. Moto from Chilli Beans. & Who-ya Extended | KERENMI | 初めは1サビやラスサビで出てくる泡沫って歌詞が引っ掛かったのですが、第12節の名前を呼び合って照れている2人だったり、聴けば聴くほど所々できみつぶの事を歌っている感じがしたので選曲しました。 |
| 返信願望 | 天音かなた | 歌詞全体が同じ感じを与えますから最初はこの曲も百合です！ |
| 涙の種、笑顔の花 | 中川翔子 | 歌詞が「君に贈る永遠」の「雫」みたいな感じがしました |
| 君がくれた夏 | 家入レオ | 切ない雰囲気とかきみつぶを感じさせるような歌詞が入ってるから |
| アイネクライネ | 米津玄師 | 「今痛いくらい幸せな思い出がいつか来るお別れを育てて歩く」という歌詞が、先が長くない夏織と雫の2人の状況にすごく合っていると思ったからです。また、「あなたが居場所をなくし彷徨うくらいならばもう誰かが身代わりになればなんて思うんだ」という歌詞が、28節の水族館で夏織が「死にたくない」と本音をこぼしたシーンの「どうして夏織なの もし人生でたった1回願う事が叶うなら夏織のために使うのに 私が代わってあげられたらいいのに」という雫の心情をそのまま映し出したように感じたからです。他にも、「あなたにあたしの思いが全部伝わってほしいのに 誰にも言えない秘密があって嘘をついてしまうのだ あなたが思えば思うよりいくつもあたしは意気地ないのに」など、雫の不安や葛藤に似たような歌詞がたくさんあるからです。 |
| イエスタデイ | Official髭男dism | 「遥か先で君へ狙いを定めた恐怖をどれだけ僕らはらい切れるんだろう？」という歌詞が、4巻以降の雫っぽいと思ったからです。 |
| 救世主 | radwimps | Mutual rescue |
| 八月の蛍 | HACHI | どのシーン見ただよね、みたいな感じでは無いのですが例えば、きみつぶがアニメ化され、最終話のエンドロールでこの曲が流れたら、それは長い余韻に浸れるだろうと個人的に思っています。全体的に夜を感じる曲ですが、各キャラの暗い部分の心情にあっているのでは無いかと思います。 |
| 僕の春夏秋冬 | メガテラ・ゼロ | 何だか二人がずっと一緒ならこんな感じだったのかなみたいな曲です。夏だけの恋人ごっこが、季節が変わっても続いたら、この曲のように全ての季節でもっと好きになってくれるのだろうなと思えるような曲だと思います。 (僕)を雫、(君)を夏織だと思って聞いてみて下さい。[2] |
| アクアテラリウム<<アコースティックver.>> | やなぎなぎ | 曲全体が2人の想いとよく合っており、特に曲の後半と物語後半の夏織がよく合う気がします。水族館デートにもピッタリ。 |
| HANABI | Mr.Children | 夏っぽくて今は遠くに行ってしまった人を思う感じの曲なので |
| 楓 | スピッツ | 歌詞の「さよなら 君の声を抱いて歩いていく」とかがそれっぽい。 タイトルの楓が夏が過ぎ去った後に来る秋の風物詩 |
| 雪風 | スピッツ | 冬になって、夢の中で夏織と雫がひとときの再会をしている、という想像をしました。 この曲の歌詞は亡くなった人側の視点で綴られており、特に最後のサビの "君は生きてく 壊れそうでも 愚かな言葉を 誇れるように" のところが、夏織から雫への願いのようだなあと感じて聴いていました。 |
| ピアノ協奏曲第2番・作品18 | セルゲイ・ラフマニノフ | 限りなく映画音楽的なクラシックです。第2楽章の甘美で悲しげな旋律が、作品の後半と良く合っていると思いました。 |
| 宝石になった日 | BUMP OF CHICKEN | 最終巻を読んでからずっと脳内で回っていた曲です。 |
| fragile | Every Little Thing | 全体的に相手に対する強い好意を向けている歌詞なんですけど特に「言葉が不器用過ぎて邪魔ばかりする」「傷つけあう日もあるけれども」のあたりが凄く雫っぽいなと思っています。 対して2番の出だしの「精一杯背伸びして 平然を装っていたけど 余裕などないくせに また笑顔つくってしまった」この辺は4巻の笑顔を作るのがクセになってる夏織と重なると思いながら聴いています。 |
| 17才 | ハルカトミユキ | 歌詞が全体的に雫のことを唄っている感じがするから。 |
| 夏祭り | JITTERIN'JINN | サビの「君がいた夏は遠い夢の中、空に消えてった打ち上げ花火」という歌詞が夏織とのひと夏を過ごした雫の感情のような感じがします！ |
| 向日葵 | Ado | サビ部分に雫っぽさを感じたから |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつづっぽいと思った理由 |
|----------|---------------|---|
| 道 | 宇多田ヒカルさん | <p>ヲタク特有の長文なので、無理にお読みいただかなくても大丈夫です！ですが、私が『きみつづ』を読み終えた瞬間にピッタリだと感じたこの曲をどうしてもお伝えしたいと思い、送らせていただきます。 私はこの曲から彼女たちのこれまでの道のり、そしてこれからの道のりを表していると感じました。</p> <p>## 1番Aメロ = "雫が自分自身に対して抱えてきた思い"</p> <p>- 『消えない星が私の胸に輝き出す』 → "(世界のみんなは未来への希望を胸に抱いているけれど)雫にとつての星は自殺願望やいじめていた過去への消えない後悔"</p> <p>- 『見えない傷が私の魂彩る』 → "「いじめていた過去が今の自分の全て。私は最低な人間だ」という自責"</p> <p>## 1番Bメロ = "夏織が雫の姿に憧れながら病氣と闘ってきた様子"</p> <p>- 『転んでも起き上がる』 → "病氣と必死に闘う姿"</p> <p>- 『そして問う あなたなら こんな時どうする』 → "辛い闘病生活の中で、「小学生の頃の雫だったらどうするだろう」と想い描く様子"</p> <p>## サビ = "出会ってからお互いの気持ちが動き出す"</p> <p>- 『私の心の中にあなたがいていつ如何なる時も』 (雫)→ "夏織と出会ってから、自分の心の中にはずっと夏織がいる" (夏織)→ "小学生の頃の自分にとつての憧れで救世主だった雫は、今もお自分の心の中にずっといる"</p> <p>- 『一人で歩いたつもりの道でも 始まりはあなただった』 (雫)→ "夏織がゴミ捨て場でルーズリーフを拾ってから、2人の物語が始まった" (夏織)→ "初めて雫のかわいさを見た時から、そして再び雫を見つけたときに2人の物語が始まった"</p> <p>- 『It's a lonely road But I'm not alone(孤独な道だけど、私は一人じゃない)』 (雫)→ "夏織は天国へ行ってしまった。けれど最後まで綴った夏織との物語は私を一人にしない" (夏織)→ "長く生きることができなかった。けれど最後まで綴られた雫との物語はどこへ行っても私を一人にしない"</p> <p>## 2番Aメロ = "雫が自分自身に対して抱えてきた想い"</p> <p>- 『調子に乗ってた時期もあると思います』 → "自分が正しいと思い込んでしまっていた過去"</p> <p>- 『人は皆生きているんじゃなく生かされている』 → "「自分だけは世界から生きる資格をもらえていない」という自責"</p> <p>## 2番Bメロ = "夏織の雫へ伝えたかった想い"</p> <p>- 『目に見えるものだけを 信じてはいけないよ』 → "「いじめてしまった過去やWeb小説の評価(見えるもの)だけではなく、自分を大切に想う家族や、あなたに救ってもらった私(見えないもの)もいる(ある)んだよ"</p> <p>- 『人生の岐路に立つ標識は 在りやせぬ』 → "「今からでも雫は変わることができる(自分を赦して前を向くことができる)」"</p> <p>## サビ = "これからの雫と夏織の「道」"</p> <p>- 『どんなことをして誰といても この身はあなたと共にある』 - 『一人で歩まねばならぬ道でも あなたの声が聞こえる』 → "夏織(雫)は雫(夏織)の胸の中にずっと一緒にいる"</p> <p>- 『You are every song(すべての歌はあなた?)』 → "私の詩(想い)は、すべて夏織(雫)の元にある" [3]</p> |
| 不可思議のカルテ | 青ブタシリーズ | 不可思議のカルテのピアノ演奏を流しながら、きみつづを読んでいます。 初夏の清流のような曲調と、小さな泡を生み出すようなピアノ演奏は、きみつづの世界を形容しているように聞こえます。 水族館に行くシーンや雫や香織達が涙を流す場面では特にマッチし、私の涙腺ダム決壊の要因ともなりました。 |
| 快晴 | Orangestar | 君に連れられるように進んだ夏の先、二度と君には会えない。でもきっと君のことは忘れない。 そういう歌詞が、きみつづにとてもよく似合う。 最終話後の雫によく似合う。 |
| ピオトープ | 織重夕 feat. 菅原圭 | 未来に思い悩み、不安に溺れそうになっている歌詞が、死のうとしている雫に合っていると思った。 |
| 未明 | 織重夕 feat. 菅原圭 | 前半はしたいことを諦めて、できなくて、世の中に絶望して。それでも希望を捨てられない。 そんな夏織の心情を。 終盤(「やめないで」以降)は雫に希望を託す、背中を押す。願いを託す。そんな夏織の心情を。 夏織にある諦めと、希望の二つの心情を表しているように思った。 |
| 少女レイ | 作詞作曲 みきとPさん | 事細かな内容としてはきみつづとは違ってお話の曲だけど、物語全体を見たときの状況としては、夏の話、女の子同士、どちらか一方はいないといった共通点があったといいなと思いました！ |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつづっぽいと思った理由 |
|------------------------|-----------------------------|---|
| アンノウン・マザーグース | wowaka(ヒトリエ) | <p>歌詞の一部がきみつづと繋げたときけっこう合致する気がしてとても聴いてて泣いてしまう 例えば「誰も知らぬ物語思えばかり 壊れそうなくらいに抱きしめて泣き踊った」 →雫が小学生のときにあった出来事を自分への戒め、罰としてずっと1人で引きずり抱えていたことが、壊れそうな自分と抱きしめるその苦辛い思い出って感じていい...</p> <p>「ガラクタばかり投げつけられてきたその背中 それでも好きと言えたなら それでも好きを願えたら あああたしの全部にその意味はあると」→小説で燃えた雫のもとに現れた雫の小説が好きだと言い彼女を手放そうとしない夏織がいて雫の小説にも意味があったのだと目の前で証明されているその感じが好きです(6巻まで読んで1巻を読み直すともた新たな視点ができていい...!)</p> <p>「ねえ、いつそ誰も気付かないその想い この唄で明かしてみようと思うんだよ」 →近づく終わりに彼女との思い出と自分の想いを小説という唄に込めて明かしてる</p> <p>「軋んだ心が誰より今を生きているの」 →「死にたくないよ」と雫に心の音を零し弱さを見せる夏織のシーン。そこがなによりも今生きていると証明した、と思ってます.....</p> <p>「それ、あたしの行く末を照らす灯りなんだろう」→「それ」を夏織との夏の思い出と仮定したとき、夏織への今も変わらぬ想いが永遠に残る灯りでそれが滑走路のように導き雫の将来へと繋がった。</p> <p>「ねえ愛を叫ぶのなら あたしはここにいるよ 言葉があり余れどなお この夢は続いてく あたしが愛を語るのならその全てはこの唄だ だれも知らないこの物語また口ずさんでしまったみたいだ」 →きつとこれからも雫が愛を零しても夏織は近くにいると聞いていると思う。言葉があり余ってもこの「好き」は続いていく。雫が愛を語るのならその全ては彼女が書いた「君と綴るうたかた」という小説(唄)である。だれも知らないこのひと夏の思い出、恋人ごっこ。それでも雫は口から彼女への愛を零すと思っています(妄想)</p> |
| 独りんぼエンヴィー | koyori/電ポルP | 雰囲気雫に似ているとおもった |
| 未明 | 織重タ feat. 菅原圭 | 前半はしたいことを諦めて、できなくて、世の中に絶望して。それでも希望を捨てられない。そんな夏織の心情を。終盤(「やめないで」以降)は雫に希望を託す、背中を押す。願いを託す。そんな夏織の心情を。夏織にある諦めと、希望の二つの心情を表しているように思った。 |
| ボクノート | スキマスイッチ | 雫のイメージソングだと思ってます。特に二番の「僕にでも与えられたものがあると言うんなら迷い立ち止まった自分自身も信じていたいな」が雫と重なりました。優しくも切なさを感じる曲調がきみつづっぽいと思います。 |
| アイネクライネ | 米津玄師 | 雫と夏織の関係にぴったりだと思ってます。二番サビの「～そのために何が出来るかな あなたの名前を呼んでいいかな」が特に。きみつづを読んでからは雫と夏織のための曲じゃん！と思うくらいぴったりなフレーズばかりです。 |
| Subtitle | Official髭男dism | <p>「凍りついた心には太陽を」 そして「僕が君にとってそのポジションを」そんなだいが傲慢な思い込みを拗らせてたんだよ</p> <p>があまりに夏織から雫への感情すぎて、劇場版きみつづのエンドロールで流して欲しいです</p> <p>あと、 言葉はまるで雪の結晶 君にプレゼントしたくても 夢中になればなるほどに 形は崩れ落ちて溶けていって 消えてしまうけど</p> <p>が最後の小説・手紙のやり取りすぎて泣いちゃいます</p> |
| あの夏に咲け | ヨルシカ | 歌詞が夏織の影響を受けて、雫の世界が色づいてるように聴こえて、めっちゃリピートしてます |
| たゆたえ、七色 | ARCANA PROJECT | 夏の海を思わせる曲調と、過去を顧みながら未来へ進むとする歌詞にきみつづを感じます ラスサビの「見つけたもの そして これまでの大切も 未来に持っていこう」という部分が特に「ほい」と思っています |
| Attitude | こはならむ | 夏織の内心と重なる部分がある曲だと感じました ラスサビの「座席の片隅の涙に気が付いて 手を差し出せる人になりたい」という歌詞が良いです |
| 点描の唄 | Mrs. GREEN APPLE feat. 井上苑子 | 先の見えている恋なんだけれども、それでも永遠に続いてほしい夏の恋の歌である、と解釈しています。きみつづだ..... |
| Lemon | 米津玄師 | 曲自体がとてつもなく有名だから、なんだかバタな選曲っぽくなったけど、歌詞を見てみたら、全体的に、きみつづとのシンクロ率が高すぎた。「言えずに隠してた昏い過去も あなたがいなきゃ永遠に昏いまま」「何をしていたの 何を見ていたの わたしの知らない横顔で」「あんなに側にいたのにまるで嘘みたい とても忘れられない それだけが確か」とか、マジで雫のこと歌ってるようにしか聞こえない。作者のやあま先生なら、なおさら、分かると思います。 |
| 花に亡霊 | ヨルシカ | 歌詞や夏ソフなところ、優しく儂い、透明なメロディ当てはまると思いました |
| bumpy-Jumpy! | KOTOKO | 夏に聴きたくなる 歌詞の一部がそれっぽい |
| 夏風邪 | Rin音 | 「ルーレットみたいな不安定な恋は」「僕らの永遠は指で数えられている」という歌詞が、終わりが迫っている2人の関係に合っていると思ったからです。また、「僕みたいなやつでもいつか 幸せになれる日が来たりするのかな」という歌詞が、人を傷つけてしまった自分の過去を許せないけれど夏織といふとそんな自分を少しだけ認めてあげられる雫の心情を歌っているように感じたからです。 |
| うるうびと | RADWIMPS | あの世へ旅立ってしまった想い人への曲なのですが、冒頭で「嘘みたいなホントばかり抱えた君は窮屈そうに笑った」と歌われている「君」が夏織と重なる、雫から夏織に向けた曲に感じられたからです。また、「あなたは私がこの世界に生きた意味でした」という歌詞も、夏織のおかげで変わることができた雫にピッタリだと思ったからです。 |
| いつもあなたが | 織田哲郎 | 寂しい時も、悲しい時も、いつも貴方が目に浮かぶ という歌詞の通りいつでも雫を思っている夏織にピッタリの歌だと思いました。 |
| 涙の海で抱かれたい~SEA OF LOVE~ | サザンオールスターズ | <p>終始、きみつづを想起させる歌詞になってる(... 気がします！) サザンもきみつづの舞台も横浜や湘南辺りで完全一致すぎる 夏の終わりや別れ、そして愛を歌うこの曲はきみつづのイメージソングにピッタリなのではないでしょうか...？</p> |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつづっぽいと思った理由 |
|--------------------------|---|--|
| イフ | MORE MORE JUMP！×初音ミク (月詠み) | <p>本曲最後にある以下の歌詞が、複数の時点での、雫と夏織の心情を表現しているように感じました。 「生まれた意味も死ねない理由も 未だにわからないけど この命に価値がないとしても 世界は美しいだから 生きていこう」</p> <p>罪を犯した自分が、夏織のいなくなった世界にいる自分が、死ねない理由も わずかしか生きられない自分が、病気で家族に迷惑をかけてしまう自分が、生まれた理由も 未だにわからないけど 夏織と(雫と)(雫の書いた小説と)出会えたことで世界は美しく色づいた だから生きていこう</p> <p>そんな風に考えたら、心にしみます。</p> <p>また、2番の以下の歌詞も、雫と夏織の心情に合致していると感じました。 「いつそ最初からならもずっと今を 愛など夢など満たせられるかもな でもその道に君はいないかもしれない」</p> <p>『過去に過ちを犯さなければ、病気じゃなければ、もっと良い人生があったのかもかもしれない。でも、その人生には夏織(雫)との出会いはなかったのかもかもしれない』と解釈できるなと感じました。</p> <p>加えて、曲全体に込められた「より良い選択があったのかもかもしれない／より良い人生を生きたい」「別の人生を歩めたら」「それでも未来を信じて今を生きていこう」というような思いが、君と綴るうたかたにマッチしているなと思いました。</p> |
| グスタフ・マーラー 交響曲第4番 第3楽章 | オーケストラ(アバド指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の演奏をよく聴いています) | <p>途中で速くなるところが、夏織が明るく振る舞っているシーンや、小学生時代の回想の、シリアスではないシーンで聞こえてきました。</p> <p>また、最後の方の一番盛り上がるころも、感情が爆発するようなシーンで聞こえてきました。</p> <p>最終話の日記を読みはじめのあたりからは、この楽章全体がびったり当てはまっているなと思っています。</p> |
| グレイ | sajou no hana | <p>歌詞が全体的に1～3巻までの雫目線っぽいなと感じたので選ばせて頂きました。</p> <p>まず、Aメロの歌詞に</p> <p>『きっと誰もが夢見ている。眩い明日で満たされた世界を。きっと僕には関わりのない、綺麗な色で塗りつぶされている。』</p> <p>という部分があるのですが、ここは雫が過去に犯してしまった過ちからあまり人と関わろうしていない様子を連想させます。</p> <p>また、Bメロでは 『どうして泣いているのだろうか？』 『誰かの憎しみを受けるべきかというの？』 『いつからこんなことになった？』 『答えはどこにもない。』</p> <p>ここは、少女心中での一件で受けた中傷や批判で、精神が疲弊していった雫のことを表しているように感じます。</p> <p>サビでは、 『歩き出した感情の音は、水色、淡くささめいて。 溢れ出した言の葉たちを、まだ憶えている。 いつからだろう、僕の心が解けていく。』</p> <p>という歌詞で。この部分は、楽しいと思う資格がない、この世から消えたいと思っていた雫。そんな雫が、夏織のおかげで前を向いて生きて行くことができた。そんなことを表しているような歌詞だなと思いました。</p> <p>これ以上書くと長ったらしくなるので控えますが(もう既に長い)ラスサビの最後まで雫目線の曲だなと感じることが出来る曲になっていると思いますので是非一度聴いてみてください。 長々と長文をお読み頂きありがとうございます。</p> |
| 春を待つ | tayori | <p>「どうにもならない別れとわかっている 不器用な僕だから明日が見えないんだ」の歌詞を聞いた時に雫が病気もなく元気にいる夏織が想像できなくて小説がかけなくなった場面を思い出したり、その後の「思い出すように 過ぎた日々を辿って 鬱んでいた感情が 溢れてしまうの」が夏織が雫に遺した手紙を読んで涙が溢れる雫そのままだったって思ってもうすぐくくくって曲全体通してきみつづっぽさがあってこれだ！ってなりました。</p> |
| 雪解け | tayori | <p>歌詞の始まりの「僅かな命だと 話すあなたの目が揺らいだ」が4巻の夏織の 死んじゃうんだよ私 のシーンと重なって所々きみつづを思わせる歌詞があって終盤の「朝 目が覚めたら全てが夢であってさ 隣であなたが笑っていたらな」って歌詞が、描写はなかったけどこう思ってたことがあったのかなとか考えたりしてきみつづっぽさを感じました！</p> |
| Dear my future | スリーズブーケ | <p>未来の自分に向けた手紙、という曲なのですが、かつて自分を消そうとしていた雫が未来の自分を思いやった手紙を残していたら素敵だなと思いました・・・！るりに謝ろうとした際も手紙を書いていましたし、物書きとしての雫が想いを伝える一番良い方法だと思っているのでそこも気に入っています！</p> |
| 一輪の詩 | Project Lumina | <p>雫と夏織のそれぞれの想いと重なるような歌詞だな、と感じたので、2人のイメージソングとして送らせていただきます。</p> <p>今度は僕が「行く先に闇などないから」と あなたを照らす詩になるから</p> <p>という歌詞が、雫と夏織のどちらの視点からも捉えられてとてもお気に入りです。</p> |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつづぽいと思った理由 |
|-------|---------|--|
| 君のつづき | キタニタツヤ | <p>※最終巻ネタバレ含みます。(念の為)</p> <p>最終話後、天国から見守っている夏織→雫目線の曲だなと思いこの曲を選びました。 正直、妄想が多く含まれたイメージソングではありますが、お読みいただけると幸いです。 歌詞</p> <p>『映画の中のお話みたいに迎えた、私たちの結末』 ↓ ここは最終話の夏織の日記に記していた「誰かのためになにかを残す、そんな物語のヒロインになりたかった」という言葉から、夏織は自分の人生を映画のお話みたいと比喻してもおかしくないな～ってなりました。</p> <p>『これから君はまた、新しいフィルムの上を歩いていく 歩いていかなきゃね 思い出の足枷を解いて、幸せになつてね』 ↓ 「私の後を追って来ちゃだめだよ、ちゃんと幸せになつておばあちゃんになるまで生きていてください」という日記に綴ってあった文章を連想させます。</p> <p>『記憶の中の君の横顔 私の宝物だったの また眺めたいよ、笑っていてよ、お願い』 ↓ 夏織がこの世から居なくなってしまつて葬儀も出れなくなつてしまつた雫を天から眺めている夏織の心情っぽいな～と</p> <p>『泣かないでほしいよ 君とまた笑いたいけど 私の命のエンドロールが終つて 次のフィルムが回り始める お別れだよ、もう』 ↓ 夏織の日記を雫が読んでいる時、雫が天国から眺めていたらこの歌詞のように、泣かないで欲しい、君とまた笑いたい、と言つた感情を抱えてそうで泣ける...</p> <p>『君のつづきの映画が始まる 結末はハッピーエンド、約束だよ 君の幸せをずっと眺めてる 安息の光の中』 ↓ 日記を読んでから、夏織の死という出来事の後、前向きに生きようと決意した雫を見守っている夏織の姿が見えます</p> <p>と言つた感じで完全に妄想&幻覚を患つた人間が考えたイメソンでしたがいかがでしたでしょうか？ 歌詞を一部省略している為、ぜひ機会がありましたら一度フルでお聴き頂けると嬉しいです。 ありがとうございました。</p> |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつづっぽいと思った理由 |
|---------------|-----------------|---|
| 春を待つ(feat.倚水) | Islet | <p>全体的にきみつづっぽい歌詞で曲調もそんなに疾走感がある曲ではないのでびったりだなと思い、選びました。以下、歌詞の解説になります。</p> <p>まず歌詞に、 『僅かな命だと 話すあなたの目が揺らいた』 という部分があります。 こは、雫に病気を明かすシーンが思い浮かんできます。</p> <p>『緩やかに 確かに時が過ぎる 虚ろな日々を綴っている』 ↓ 2人の恋愛小説を書いている雫の姿を想像できる歌詞だな〜と</p> <p>『冷え切ったその手を握っても 乾いた咳嗽が静まることはなかった 明日が見えなくなつて 僕が照らすから まだ消えないでよ』 ↓ 25話の意識が無くなってしまった夏織に対する雫の感情。</p> <p>『白雪のように 花のようにただ 溶けてゆく時の中』 ↓ 病院の中で、雫が書いた小説の感想を、夏織から貰う。そんな2人だけの、特別な時間を表している様。</p> <p>『交わした温もりが冷めたら そんなあなたを春風が攫ってく』 ↓ 容態が急変してしまった夏織のシーンを連想させます。</p> <p>『今に途切れそうな息が白む 痩せ細る手を握り返す 力も脆弱になつてく この部屋だけは 時が止まればいいのに』 ↓ 危篤状態の夏織とのLINEでのやり取りをしているシーンでの雫の心情を表しているような歌詞</p> <p>『唯一つだけのその命は きっと巡り巡つてく その度出逢って同じように恋をしてゆく』 ↓ 完全に個人的な妄想なのですが、夏織や雫はお互いに対して「次の人生でも、また雫/夏織と出逢って恋人になれるといいな」とか考えてたら良いな一つて思ってます。</p> <p>『朝、目が覚めたら 全てが夢であつてさ 隣であなたが笑っていたらな そんな願いも雪消と去つて 春の匂いがする』 ↓ 夏織の死後の雫の心情は、この歌詞の様に『全てが夢であつたら良いのに』とか考えていそうで、とても雫っぽい歌詞だなとなりました。</p> <p>いかがでしたでしょうか？ 全体的にきみつづと重なる歌詞が多い曲だと思います。少し歌詞を省略させていただいたので、機会があれば原曲を聴きに行つて歌詞を読んでみてください！ 稚拙な文章ではありましたが、解説をお読み頂きありがとうございました。</p> |
| 少女レイ | みきとP | 何となく全体的な雰囲気似ている気がする |
| 花に雨を、君に歌を | THE BINARY | 消えぬ過去を呪つてあたりの歌詞がとも雫 |
| 忘れてもいいよ | Claris | 夏の想い出と離れ離れになったストーリーが似てる気がした。乗り越えたり忘れるんじゃないかと、変わらず一緒に歩いてる〜な歌詞が「君に贈る永遠」を感じさせた。 |
| 少女レイ | みきとP | 2人の少女のお話で片方が死んでしまうところ |
| アイネクライネ | 米津玄師 | 歌詞が全体的にきみつづっぽいです！ |
| 君がくれた夏 | 家入レオ | 曲名や歌詞がきみつづっぽくて好きです！ |
| 愛唄 | GReeeeN | 歌詞は雫が夏織のために書いた小説の中で雫から夏織への愛詩を思い出させますから |
| 恋の寿命 | Galileo Galilei | 歌詞全体から感じる脆さや儂さが作品と重なり感じました。 |
| 君にふれて | 安月名莉子 | やが君OPの曲だけど、歌詞には雫と夏織のことを感じるから。雫と夏織がお互いに何かを隠していることもあり、夏織が雫のことはもっと知りたいで夏織が雫のあらゆる面を受け止めている。歌詞の「鍵をかけたガラスの箱に何を隠しているんだろう」は4巻の表紙や口絵のイラストとすごく似合うじゃないかなって...そういう感じがしました |
| 夏蟬の音 | KANA-BOON | 夏、忘れられない恋といった曲のテーマが作品の雰囲気と合っている、と感じました。 |
| Blue Sunshine | B'z | 終盤の「どこでも送つてくよ」、「バイバイ」という歌詞や全体的に歌詞のテーマが夏だから |
| ラストステアメント | ヤバス feat. 初音ミク | 1巻〜6巻にかけてだんだん弱っていく夏織がこの曲の始まりの歌詞〜終わりの歌詞と似ていたから |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつぶっぽいと思った理由 |
|----------------------------|-----------------------------------|---|
| secret base ~君がくれたもの~ | ZONE | めっちゃきみつぶ感ある |
| Akari | Shoushi Sakiyama | 私は別の国から来たので、上記の質問が理解できないかもしれません。あなたが理解することを願って |
| ウタカタメロディ | 王雪 (CV.花井美春), ラモーナ・ウォルフ (CV.田中美海) | この曲のメロディってその雰囲気はまるで海の下にいるような感じで、きみつぶイラストのテーマを思い出させた。特に6巻の口絵とこのPOP-UP SHOPのイラスト 歌詞は雫と夏織の運命的な出会いも感じました。それで雫は夏織のことを決して忘れず、雫が夏織のことを覚えてる限り、夏織はとても幸せだと曲に感じていましたから |
| Oz. | yama | (The lyrics is perfect for Shizuku and Kaori, where they don't want to leave each other and don't want to be alone again.) この歌詞は、雫と香織を思い出させる。お互いに離れたくない、もう一人になりたくない。 |
| FIND THE WAY | 中島美嘉 | 曲調、使用された番組とのストーリー上の一部類似性 |
| 雪解け (feat. 倚水) | Islet | 物語全体を通して、雫と香織の物語に寄り添うような歌詞だと感じたからです。 |
| 私の最後の日 | yourness | 雫と一緒に夏織の最後の日感じるから |
| Everything | THE ORAL CIGARETTES | サビの英歌詞の部分を和訳してみると「今も今までもすべてがあなたのおかげです。あなたは永遠に私のすべてです。すべてがあなたと私のための時間です。これが愛だろう。」自分の人生の全てが君色に染まってしまったという恋愛感がきみつぶの2人にぴったりだなーと思いました！ |
| Okay | 稲葉浩志 | 1番のサビの歌詞が夏織の心情、2番のサビの歌詞が雫の心情を表しているように思ったからです。 |
| 失恋ソング沢山聴いて泣いてばかりの私はもう。 | りりあ。 | Song reminded me of Shizuku and Kaori. The lyrics are like about them |
| 春を待つ | tayori | 曲調がすごくあってるし歌詞が全体的に4巻から入院する夏織や雫にピッタリな感じがしました |
| 灰とダイヤモンド | ももいろクローバーZ | なんとなく |
| ロストワンの号哭 | Neru | 衝動的なところがイメージにぴったり! |
| It Don't Matter To The Sun | Rosie Thomas | 雰囲気と寂しさの中に力強さを感じるところがきみつぶと合っているとしました。 |
| It Don't Matter To The Sun | Rosie Thomas | 雰囲気と寂しさの中に力強さを感じるところがきみつぶと合っているとしました。 |
| 春を待つ | Islet | 歌詞が4巻からの雫って感じるから |
| 真夜中マーメイド | =LOVE (佐々木舞香さんのソロ楽曲となります) | まず歌っていらっしゃる佐々木舞香さんの儂さと透明感がとにかく夏織っぽい！基本的に夏織視点っぽいのですが、「君の複雑な心開いたらそっと閉じて私が鍵をする」のあたりとか「波は単調な音楽でてる 孤独紛らすように泳いでる 退屈な景色君で塗り重ねて」のところは夏織と雫どちらにも当てはまってそうだなあと思ったり……。ラスサビの「Ah 今すぐ連れ去ってよ 2人が結ばれる世界へ 君に触れずに死ぬその日この海涙で満ちるでしょう 陽が登ったそのときには泡になって消えてくから」のところは最後の方の夏織っぽいなと思うけど、雫が未来でもずっと夏織を想い続けていることで2人が強く結ばれている世界へ連れて行ったんじゃないかなと私は思っています。最後の「I just love you」は、夏織の最後の手紙の涙で滲んだ「私も愛してる」を思い出してしまいました。夏織と雫には別れが来てしまったけど、独りじゃなくなって動き出した雫の時間が止まることはなくて(夏織がいなくなってしまったあとまた止まりそうになったけど、夏織が芽ちゃんや菜ちゃんや繋いでくれていたから雫が夏織からの手紙を読んで前にまた進むことができ)物語の終わりのその先まで夏織への想いを持っていく、夏織の後を追ってしまうのではなく夏織との出会いを経た雫が未来へ進んでいく幸せな物語だった、小説の中でも元気な夏織と雫が仲良くハッピーエンドはなんだか2人らしくないとも言っていた、それでも夏織は生きたかったんだよね……と思いがら聴いています。雫が後を追ってしまいうそで本物の恋人になりたかったと最後の手紙までずっと言えずにいたのも……伝えられる世界だったなら、と……。でも雫や夏織の何かが違えば交わることもなかったかもしれないのがまた切ないなあ、と思います……。最後なんだか日本語が色々おかしくなっちゃった気がします私はこの「真夜中マーメイド」をきみつぶイメソングに推してます！ |
| ころ | 小田和正 | 「あの夏世界中で一番たいせつな君に会った」という歌詞がきみつぶっぽいなと思いました |
| ウミユリ海底譚 | n-buna | 曲調の夏っぽい感じとか歌詞とか全部きみつぶの雰囲気そのものに感じるから |
| パッヘルベルのカノン | ヨハン・パッヘルベル | 思い出的。 |
| 春泥棒 | ヨルシカ | |
| ただ君に晴れ | ヨルシカ | |
| 春を待つ | tayori | 季節は少しずれていますけど歌詞と雰囲気がきみつぶっぽい！！ |
| 花の塔 | さユリ | 君の手~の部分がかきみつぶすぎる |
| ローリングール | wowaka | あまりにも雫の心情とかに雰囲気が似ている |
| 生きる | 水野あつ | 最終回の雫にすごいリンクすると思った |
| true love waits | radiohead | 6巻らへんの雫っぽい感じがするから |
| lonely rolling star | 塊魂 | |
| ひまわりの約束 | 秦基博 | 歌詞 |
| The Shooting Star | Gojira | The lyrics are about losing a loved one, the two main members of the band lost their mom and wrote this song |
| MEMORIA | 藍井エイル | 誰かと別れた後の心情を表している歌だからすごいリンクする |
| THE ORAL CIGARETTES | Rel | 普段の生活が当たり前幸せであることに気づくことができるのではないかな。この幸せな時間をさらに色づけていきたい。明日をより良いものになりたいと心に誓って、死んでしまった人たちの分まで前を向いて生きていかなければならない。そんな歌だかこそきみつぶっぽいなと思いました |
| 少女レイ | みきとP | 歌詞が少女が亡くなった少女のことを想う歌詞なのと、個人的には永遠に干切れてくお揃いのキーホルダーという歌詞が雫と夏織のペアリングのこのように感じたからです！ |
| memories | Maroon 5 | |
| とても素敵な六月でした | Eight | |

| 曲名 | アーティスト名 | 上記で回答した曲がきみつつぽいと思った理由 |
|-----------------|-----------------|--|
| remember | Uru | <p>傷つくことを恐れながら心を隠したりしたけれど、誰かがそばにいてくれる温かさを教えてもらったって歌詞が雫と夏織との夏を表している感じがしました。</p> <p>さよならじゃない、って歌詞が連続して最後に、離れたとしても記憶の中の温もりをずっとずっと忘れないよってのが「君に贈る永遠」感あって好き</p> <p>そしてこの曲が「夏の終わりを知らせるように」から始まってることが、君つつのエピローグ感</p> |
| 蓄 | Omoiotake | 「絶えずに君がくれた温もりが 僕の心に種を植えたんだ 君とじゃなきゃ咲けないこの花の」という歌詞にすごいきみつつを感じた... |
| その群青が愛しかったようだった | n-buna | <p>雰囲気なんとなくそれっぽい</p> <p>https://www.youtube.com/watch?v=POCs38Rputs</p> |
| 波のゆくさき | The RICEcookers | 歌詞が雫と夏織と、他の登場人物にも当てはまると思いました。とくに果てなく続く命の螺旋が交わることを奇跡と呼ぶならとかです。 |

[1] 返信システムがこの値を更新しました。

[2] 返信システムがこの値を更新しました。

[3] 返信システムがこの値を更新しました。